

南井上にじいろ認定こども園

徳島県徳島市国府町

設計・監理
有限会社 内野設計
有限会社 ケイツー建築設計所(構造)

施工
株式会社 亀井組
児童施設

カメラマン
米津 光



外観



園庭



回廊の中心は先生の部屋



そここの丸太柱が杉林のなかにいるような感覚を呼びおこします



建具を開放すると保育室群と回廊がワンルームに



絵本コーナー

「山で育ち続ける大径材をどう活用するか」に対する直球回答が、この「丸太のこども園」です。これまでもこども園の設計にあたっては、子ども達が丸太の周りをぐるぐる回ったり、抱きついたり、大きな子はよじ登ってみたりと、体全体で建築に関わる楽しい場所になるように、丸太を使ってきました。45分準耐火構造が求められた今回は、仮に火がついて燃え進んでも木材の表面が炭化して、構造上必要な寸法は燃え止まらせるための木材の厚さ、いわゆる「燃えしろ」が45ミリ必要でした。柱の全周に45ミリ、直径にすると90ミリ余分に必要になります。樹木はてっぺんに行くほど細くなるので、いちばん細い部分でそのサイズを確保すると根本ではもう一回り太くなって、見るからに頼りがいのある感じになりました。伐り出す際に機械がつかんでできた傷は、やすりをかけると不思議な文様に。子ども達が一人一人違うように、丸太も一本ずつ違う表情で語りかけてきます。(内野輝明)



時間になると園児達がイス・テーブルを並べて回廊はランチスペースに



就学前の5歳児室は教室スタイル



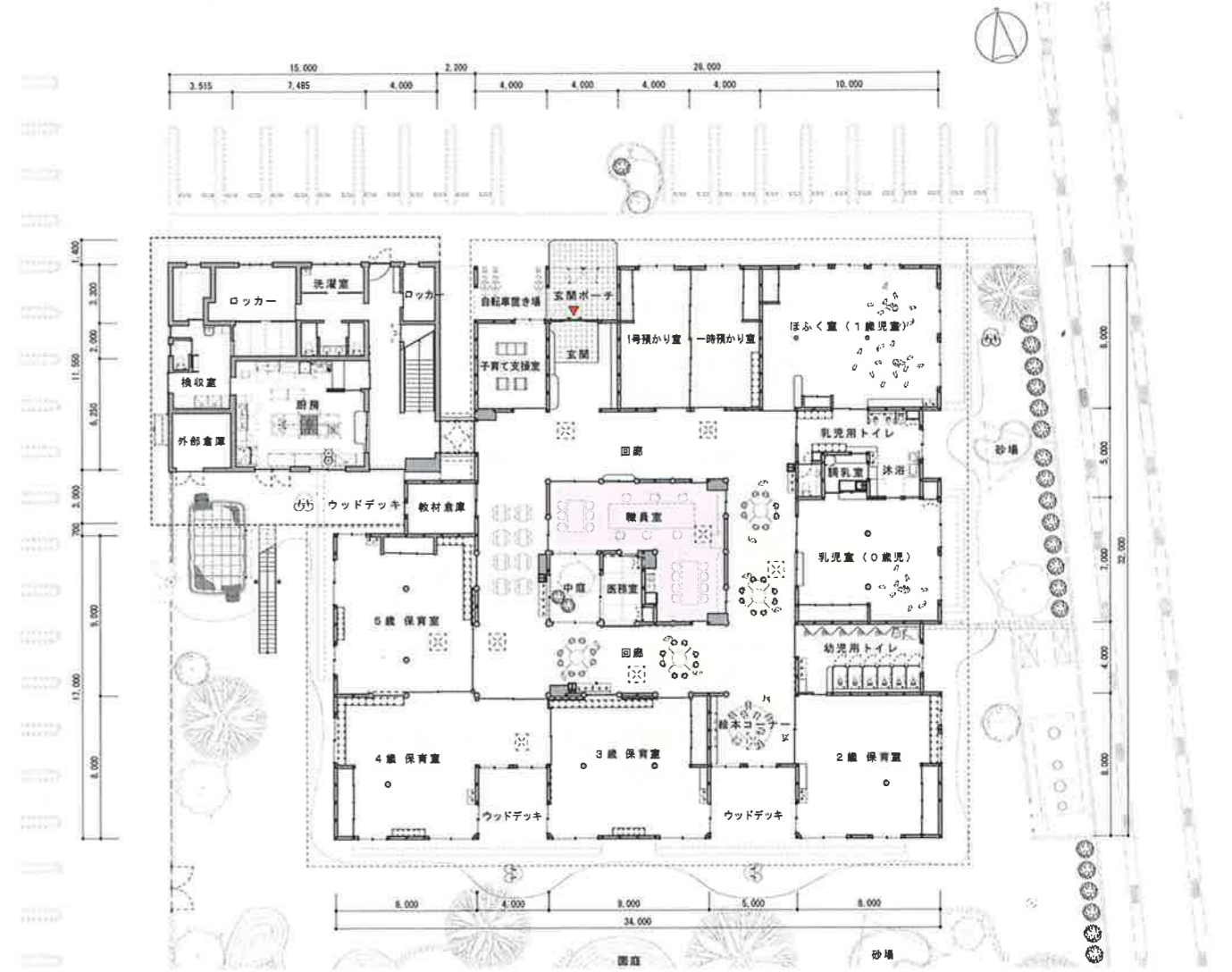
3歳児室



乳児室

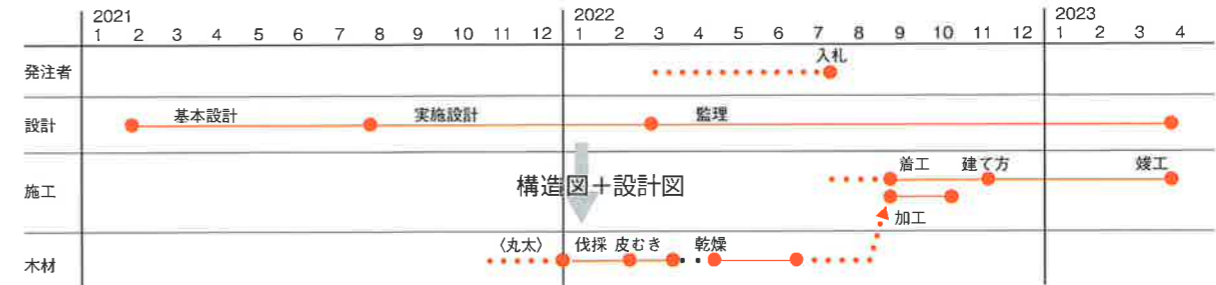
木造建築への思い

『徳島建築の木造化』が言われ始めて12年。住宅の規模を超える施設や共同住宅などが実際に建つようになってきました。そもそも林業は徳島の代表的な地場産業の一つです。藍と並んで、土壁を守る人見板張りの材料「阿波の三分板」は、京阪神、関東など広く県外でも売れました。地域や水系によって得意とする木質建築材料の形態は異なります。阿波は板材、高知や愛媛は構造材というふう。構造計算にのりやすい集成材や、交互に積層された板材であるCLT等は、今のところ限られた地域でしか生産されず、例えば新浜町団地県営住宅の現場では岐阜や山形から取り寄せざるを得ませんでした。輸送にかかる燃料消費によるカーボンニュートラルへの留意はもちろん重要ですが、各地域で発展してきた林業、加工業の合理的な連携は今後ますます進むでしょう。平常時からの連携が、大規模災害発生後の復興における木造建築生産の広域連携の予行演習になればと思います。(内野輝明)



建具を開放するとつながる諸室

敷地面積	4,093.14㎡	軒高	4.71m(木造)7.325m(RC)	屋根	ガルバリウム鋼板葺き
延床面積	木造平屋部分985.5㎡+RC2階建て部分442.05㎡	地域地区	指定なし	外壁	窯業系サイディングT16
規模	木造平屋+RC2階建て	主体構造	木造+RC造	建具	外部:金属建具 内部:木製建具
最高の高さ	5.94m(木造)8.25m(RC)	基礎	鉄筋コンクリート造	内部仕上げ	ビニルクロス、一部杉板張り



内野輝明 Uchino Teruaki
 有限会社 内野設計
 徳島県徳島市万代町5-71 (万代中央ふ頭倉庫街)
 ・TEL 088-626-9567
 ・FAX 088-626-9568
 ・MAIL uch@uchnet.net
 ・HP https://uchnet.net/

プロフィール
 1963年 徳島県生まれ
 1986年 大阪工業大学建築学科卒業
 1986~1999年 山本西原建築設計事務所、増淵建築設計室、高崎正治都市建築設計事務所
 1999年 内野輝明建築設計事務所設立
 2005年 内野設計に改組

徳島県での主な実績
 ・天理教海南分教会(海陽町)
 ・徳島県木材利用創造センター
 林業人材育成棟(徳島市)
 ・徳島ヴォルティスクラブハウス(板野町)
 ・新浜町団地県営住宅2号棟(徳島市)

■所属 / 日本建築家協会 日本建築学会 徳島県建築士事務所協会
 徳島県建築士会 木質構造研究会 木の建築フォーラム